

## 第 105 回紫友まち歩き

### 渋谷区公共トイレ巡りその 1

映画「Perfect days」(主演 役所 広司)は、公共トイレの清掃人を主人公にした映画で、ベネチア映画祭でも話題になりました。そこでまち歩きのテーマとして案内人が今回は6カ所のトイレ巡りを提案してくれました。好天の中、バスも利用して、のんびりとしたまち歩きになりました。

日時：2024年12月21日(土)

集合時間：13時

集合場所：JR代々木駅西口改札口広場

参加者：18名(途中2名参加)

案内人：浅見眞一郎(011G)

懇親会：台湾料理「麗郷」(渋谷恋文横丁)

懇親会参加者：14名

歩いた歩数：約9200歩

<まち歩き>：

#### ■まち歩き行程

JR代々木駅西口改札口広場→裏参道公衆トイレ→神宮通り公園トイレ→代々木深町小公園トイレ→春の小川コミュニティーパーク→代々木八幡宮→代々木八幡公衆トイレ→鍋島松濤公園トイレ→懇親会

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

#### ① JR代々木駅西口改札口広場：

13時15分頃に案内者の簡単な説明で

まち歩きが始まりました。バスを利用するので、一台に乗りきれないときは次のバスで来るようにとの説明もありました。



② 裏参道公衆トイレ：設計者：マーク・ニューソン(オーストラリア)代々木駅から山手線に沿って、北参道に向かう。高速道路下に裏参道公衆トイレがあった。小さな公衆トイレで、見学開始。

<なお、トイレ中の写真はこの報告書では載せていません。また、以下案内人作成資料での説明を『』の中に記載しています。>



『銅製の「蓑甲 or 箕甲? (みのこ)屋根」をはじめとする日本の伝統的な建築。超近代的な場所にあっても、神社仏閣や茶室、農村部などによく見られるこの屋根の形が、潜在的に心地よ

さや安らぎを感じさせるものにした  
い。銅のピラミッド型屋根の緑青は、  
時とともにこの建築物を街に溶け込  
ませ、東京を織りなす構造の一部とな  
ることでしょう。』



都バスの北参道駅でしばらく待つ。



ここからもNTTドコモ代々木ビル(ド  
コモタワー：電波塔が目的)が見える  
が、見え方が違っていった。



③ 神宮通り公園トイレ：設計者：安  
藤忠雄  
神宮前六丁目で降りる。



『小さな四阿（あずまや）、円形平面  
の棟から、屋根庇が大きくせりだし縁  
側をつくる造形。外壁は風と光を通す  
たて格子とし、利用者が円形を描くそ  
の壁に沿ってグルリと通り抜けられ  
るようになっている。公園の木々の緑  
の中にひっそりと佇むこのトイレ、名  
付けて「あまやどり」です。』



今度は京王バスで神南1丁目乗車、  
代々木公園駅に向かう。

④代々木深町小公園トイレ：設計者：  
坂 茂  
代々木公園沿いの銀杏の木が対照的。  
まだ黄色い葉があるもの、全て落ちて  
しまったもの。どうしての疑問も。



公園内に黄赤青3色の派手な調光フィルムを貼ったガラス張りのボックスがある。調光フィルムとは、電源のオン・オフによって透明・不透明を瞬時に切り替えられるフィルム。中には鏡が一面にあるので、少し落ち着かないかも。本日は、残念ながら不透明なガラスの状態であった。



『公共のトイレ、特に公園にあるトイレは、入るとき2つの心配なことがあります。一つは中が綺麗(クリーン)かどうか、もうひとつは中に誰も隠れていないかどうか。新しい技術で作られた鍵を締めると不透明になるガラスで外壁を作ることで、トイレに入る前に中が綺麗かどうか、誰もいないか確認でき、その2つの心配をチェックすることができます。そして夜には、

美しい行灯のように公園を照らします。』



歩いて隣の春の小川コミュニティーパークに向かう。

#### ④ 春の小川コミュニティーパーク：

設計者：坂 茂

前と似たような箱形トイレがあった。



『説明は④と同じ』

そばを京王線が走っている。そこが以前は河骨(こうほね)川で、「春の小川」の歌の作詞をした高野辰之が住んでいた。歌碑があった。コウホネの花も咲いていたという。

#### ⑤ 代々木八幡宮：

踏切を越え、坂を登っていくと代々木八幡宮に出た。この茅の輪くぐりは3回ほどくぐるもので、何人かがくぐりお参りをしていた。



⑥ 代々木八幡公衆トイレ：設計者：  
伊藤豊雄

坂を下っていくと3本のキノコのような代々木八幡公衆トイレがあった。



『代々木八幡宮の森から生まれた3本のキノコのようなトイレです。参道に当たる階段の上り口にあるので背後の森と調和するようなキノコを連想させる表現を採りました。個室型のトイレを3つに分散させることで回遊性を生み出し、行き止まりが無く視線が抜けることで防犯性を高めています。また、各個室の広さを豊にとり、従来は多目的トイレに集約していた高齢者や子供連れのための機能も男女の個室へと分散することで、パブリックなトイレとして多様な利用者にとつ

て利用しやすい。』



京王バスで、八幡下から東急百貨店本店前で降りる。渋谷駅に近いので海外の人も多く、混雑していた。

⑦ 鍋島松濤公園トイレ：設計者：隅  
研吾

バス停から鍋島松濤公園に向かって松濤文化村 St. の坂道を上がっていく。公園の中に杉板を貼り合わせたような小屋のようなものがある。



『緑豊かな公園の一角に、杉板に囲まれた山道をイメージした小道に5棟（幼児用、一般、小使用、ユニバーサル他）が点在し、ユニークな公衆トイレを構成している。』



ここで集合写真（下）を撮りました。

### ⑧ 懇親会と忘年会

台湾料理「麗郷」（渋谷恋文横丁）で2時間ほど懇親をし、2025年まち歩きに向けての話も出ました。積極的に企画提案していきましょう。



なお、第1回まち歩きは、2005年1月15日でしたので、来年1月で20年まち歩きが継続したことになります。今後とも積極的に参加していきましょう。

以上

